

試聴会・訪問記収載

シマムセンオーディオ試聴会 (2025.5.10)

—SAEC 製品—

1. はじめに

シマムセン CYMA で開催された SAEC 製品試聴会に行ってきました。

2. 開催要項と使用機器

開催要項は下記のとおりで、5月10日(土) 13:00~14:30 のプログラムに参加しました。



The flyer features the SAEC logo at the top left. To its right, there's a large image of a turntable with a tonearm and a MC cartridge. Below it are two speakers on stands labeled "Super HL-5 Plus XD". To the right of the speakers are two smaller images: one of a phono preamp labeled "WE-709" and another of a唱针头 labeled "XC-11". On the far right, a pink box contains the event title "SAEC製品試聴会" and date "5月10日(土)". Below this, a pink box contains text about the new products and their effects. Another pink box provides the schedule: "日程" (May 10th (Sat)) with times "①13:00-14:30" and "②15:00-16:30". A blue box below lists the venue "ホリノビル 2階 CYMA" and booking information "シマムセンHPにてご予約受付中". At the bottom right is a QR code.

スケジュールと使用機器は以下のとおりです。

～SAEC アクセサリー各種製品で変わる音質体験 + Harbeth スピーカー～

[日時] 2025年5月10日(土)

第一部 13:00~14:30

第二部 15:00~16:30

[使用機材] (メーカー / 機種) (税込み定価)

[プリメインアンプ] Luxman / L-509Z (¥990,000)

[SACD/CD プレーヤー] Luxman / D-X (¥1,430,000)

[アナログプレーヤー] Luxman / PD-191A (¥990,000)

[フォノイコライザ] Phasemation / EA-550 (¥748,000)

[トーンアーム] SAEC / WE-709 (¥825,000)

[カートリッジ] SAEC / XC-11 (¥528,000)

[スピーカー]	Harbeth / super HL-5 plus XD	(¥1,210,000/ペア)
[スピーカースタンド]	Harbeth / HSS-5	(¥79,200/ペア)
[グランドスタビライザー]	SAEC / SGC-200	(¥396,000)
	SAEC / SGC-042Mk II	(¥242,000)
[電源タップ]	SAEC / TapCute6 Mk II	(¥71,500)
[電源ケーブル]	SAEC / PL-9000	(¥168,300)
	SAEC / PL-7500	(¥115,000)

会場 CYMA Event Room (シマムセン別館 2F)

講師 メーカー担当者

内容

SAEC 創立 50 周年記念モデルの新製品トーンアーム「WE-709」と新製品 MC カートリッジ「XC-11」との組み合わせで、W ナイフエッジによる高音質サウンドを体感いただきます。

SAEC の高性能グランドスタビライザー「SGS-042」をフォノノイコライザーや SACD/CD プレーヤーなどに接続し、その効果を体感いただきます。SAEC が 2024 年より取り扱いをはじめた Harbeth のスピーカーを使用し、様々な音楽ソフトを通じて、BBC モニターの系譜を担う Harbeth の魅力を体感いただきます。是非この機会にご参加ご試聴くださいませ。

3. 試聴会の経過

5月 10 日(土)の第一部に参加しました。



当日のセッティング

構成は 4 つに分かれ、最初は電源タップと電源ケーブル、次はグランドスタビライザーと称する仮想アース、次いでアナログシステムと最後はスピーカーという順です。

最初は CD のフェージョンで、電源タップを、次いで電源ケーブルの高い方をアンプと CD に、最後はすべてを投入という順で試聴が行われましたが、この程度かという印象です。

次に Hol Coll のボーカルで電源タップと安い方の電源ケーブルをセットして試聴が行われましたが、確かにクリアな音ですが、価格を考えるとこの程度かという印象です。仮想アースは、SGC-042Mk II を使用し、ショルティ指揮ウィーンフィルのヴェルディのレクイエムで、SACD/CD プレーヤーのアース端子、ついでスピーカーのマイナス端子に接続していましたが、ともに喧しさが取れ、オーケストラや合唱の分離、打楽器などの明晰さがでできます。

次はジャズで仮想アースは、SGC-042Mk II と SGC-200 の比較でしたが、前者の切れの良さに加えて、後者はより音像がリアルになりました。

これらは確かに魅力的な存在ですが、価格を考えるとコストパフォーマンスでは難しいところがあります。

ここからは、アナログ再生に移り、アームとカートリッジの詳しい説明があった後、SGC-200 はフォノイコとスピーカーにセットし、ロックとジャズの盤がかかりましたが、切れの良さと解像度の良さは感じられ、スピーカーの説明があった後、最後は女性ボーカルで締めくくりとなりました。

4. まとめ

全体としては選曲がスピーカーの特性とマッチせず、スピーカーを活かしきれないデモとなりました。もっとクラシックのしっとりとした曲なら正確な評価ができたかと思います。SAEC の音質の目標は切れの良さと解像度の向上を目指していることは、解説どおりその音に具現化されていることは確認できました。

電源タップと電源ケーブルについては振動と静電気対策を行っているとのことでしたが、技術的な背景の説明はなく、仮想アースについては電磁波と磁界対策を行っていたことでしたが、これも技術的な背景の説明はありませんでした。

アナログに関してはイコライザ特性や位相への関心はないようでした。

以上